



SATELLITE
DESIGN
CONTEST

第33回

衛星設計 コンテスト

宇宙のアイデア、
募集中

■ 応募スケジュール

2025年

参加登録受付

4月1日(火)～5月12日(月)

作品提出締め切り

7月7日(月)

■ 結果発表 9月上旬

※一次審査の通過者は発表後、解析書の改訂、模型製作、プレゼンデータの作成等があります。

■ 最終審査会 11月22日(土)

▼ 詳細はホームページでご確認ください。

<https://www.satcon.jp/>



参加者募集!!

<https://www.satcon.jp/>

コンテスト出身者は「はやぶさ2」やイプシロンロケット開発担当、宇宙ベンチャー企業経営者など多岐にわたっています

1993年から毎年実施している「衛星設計コンテスト」は、高校生から大学院生までの学生を対象にした、コンテスト形式の教育プログラムです。参加者は、小型衛星をはじめとする様々な宇宙ミッションを創出し、その設計を行います。審査員は、着想点、創意工夫、基礎的な技術知識、将来性等の様々な観点からすぐれた作品を選考します。

コンテスト応募のためのアイデアの 作り方について解説します!

「宇宙ミッションアイデアの創成と衛星設計入門編」

講師:衛星設計コンテスト会長 中須賀 真一(東京大学)

日時:2025年4月16日(水) 18:00～19:30

参加費:無料 開催方法:オンライン

※詳細についてはウェブサイトをご確認ください。

主催 日本機械学会、日本航空宇宙学会、電子情報通信学会、地球電磁気・地球惑星圏学会
日本天文学会、宇宙航空研究開発機構、宇宙科学振興会、日本宇宙フォーラム
日本ロケット協会

後援 内閣府宇宙開発戦略推進事務局、経済産業省、文部科学省、総務省、防衛省 (全て予定)

協賛 株式会社テクノソルバ、株式会社BCC、株式会社放送衛星システム、飛鳥電気株式会社
LSAS Tec 株式会社、株式会社羽生田鉄工所、多摩川精機株式会社、HIREC株式会社
住友重機械工業株式会社、株式会社エイ・イー・エス、アルテアエンジニアリング株式会社

特別協力 情報通信研究機構、三菱電機株式会社、日本電気株式会社、株式会社ElevationSpace

協力 大正製薬株式会社 **企画・運営** 衛星設計コンテスト実行委員会



第33回

衛星設計 コンテスト

第33回 衛星設計コンテスト 応募について

■ 募集部門:「設計の部」、「アイデアの部」、「ジュニアの部」
「設計の部」、「アイデアの部」は大学院生、大学生、高等専門学校生、専門学校生、高校生、「ジュニアの部」は高校生のグループまたは個人を対象とします(異なる学校からなる合同チームでも構いません)。ただし、1グループは10名以内と制限させていただきます。

応募作品は、過去に応募し、一次審査(書類審査)で落選した作品であっても、再度検討を重ねて改良したものについては、新たな応募として認めます。参加登録はweb(フォーム)から登録、または規定の参加登録用紙を使用して事務局まで送付してください。

【参加登録締切:2025年5月12日(月)】

募集要項及び参加登録様式はコンテストホームページからダウンロードできます。

■ 参加登録料:設計の部・アイデアの部 3,000円
ジュニアの部1,000円

Point 01 — 丁寧な審査とアドバイス —

本コンテストの審査委員会は、衛星・宇宙開発の第一線で活躍する専門家ばかりです!コンテストに応募した全ての作品に、審査委員会から評価点や改善すべき点を含めたアドバイスシートが発行されます。また、過去に一次審査で落選した作品であっても、このアドバイスシート等を参考に検討を重ね、改良したと認められる作品は、翌年以降再度応募することができます。その他にも、第33回から一次審査通過者向けにオンラインにて、衛星設計コンテスト会長(中須賀 真一/東京大学)から作品ブラッシュアップのための衛星設計に関する講義を開催します。(詳細は一次審査通過者へご連絡します)

Point 02 — 衛星開発の最前線に触れることができる —

主催者は5学会及びJAXA、宇宙関連団体4機関で構成されています。審査委員も実行委員も経験豊富な宇宙関係者ばかり。また、特別協力の3機関からも最前線の専門家が審査委員に選出されています。普段なかなか会うことのできない専門家から直接アドバイスがもらえる、貴重な経験ができます。

Point 03 — 「衛星設計コンテスト」は衛星開発の登竜門 —

過去の衛星設計コンテストで受賞経験のある大学により開発された人工衛星が実際に宇宙へ多数打上げられています!また、本コンテストに参加した学生の中には、卒業後にJAXAはもちろんのこと、様々な宇宙関連企業や宇宙ベンチャー企業で活躍しています。

Point 04 — 全チームに賞を授与 —

最終審査会に残った作品は厳しい審査を勝ち抜いて出場しているため、表彰式ではもちろん賞が授与されます。プレゼン内容も審査の対象になるので、頑張って! 2018年から、文部科学大臣賞が新設されました。発表した作品の中で最も優秀な作品に授与されます。